

## II 評価書作成の趣旨

---

2022年度からの4年間を計画期間とする「静岡県教育振興基本計画（2022年度～2025年度）」（以下「基本計画」という。）では、本県教育の基本理念である「『有徳の人』の育成～誰一人取り残さない教育の実現～」を目指し、「有徳の人づくり宣言」に明示する柱に沿った3つの基本方向（大柱）の下、9つの重点取組（中柱）を掲げ、県と県教育委員会が一体となって教育施策を推進している。

この基本計画の進捗状況を確認し、施策の改善を図るため、評価書を毎年度作成するものである。

なお、本評価書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項により義務付けられている「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等」の報告書を兼ねる。

## III 2023年度評価の方法

---

基本計画の上位計画である「静岡県総合計画」の評価方法に沿って、次のとおり評価を実施した。

基本計画に掲げた取組のうち、「目標」の進捗に影響の強い取組を中心にその取組状況を確認するとともに、今後の取組の方向を示した。

また、計画期間の2年目に当たる今年度は、数値目標の計画期間内の実績値が明らかになるため、アウトカム指標である「成果指標」の評価を実施し、課題と今後の取組方針を明示した。「活動指標」については、進捗状況を確認した。併せて、必要に応じて指標の見直しを実施した。

※指標の評価基準は巻末に記載

## IV 2023年度評価結果の概要

---

静岡県では、「『有徳の人』の育成～誰一人取り残さない教育の実現～」を目指し、基本計画に基づき、県と県教育委員会が連携し、「『文・武・芸』三道の鼎立を目指す教育」、「未来を切り拓く多様な人材を育む教育」、「社会総がかりで取り組む教育」の実現に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残り、ICT活用の拡大など教育活動や教育環境の変化が続く状況の中、目標の達成に向けて様々な取組がなされていることが確認できた。

成果指標及び活動指標については、多くの指標は順調に進捗しているが、より一層の推進を要する指標も見られた。

こうした課題に対し、求められる支援は多様化しており、今回の評価も踏まえ、誰もが人生の夢を実現し、幸せを実感するための基盤となる「誰一人取り残さない教育の実現」に取り組んでいく。